

2024～2025年度クラブ目標

創立1986年

『思いやりがある 感謝のロータリー』



2024～25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘
幹事 十文字 光伸

第1818回例会

令和6年8月22日 (18:30～19:30)



○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- CKB役員 実行委員長 青木哲也様(大信中)
事務局長 水野谷亮様(埴中)
運営部長 大平健様(鮫川中)
式典部長 引地琳様(表郷中)
競技部長 村上徳信様(白河第二中)

○スマイルBOX

- 阿部克弘会長(本日は青木先生はじめCKB中学校野球大会の役員の皆様、卓話ありがとうございました。大会当日も宜しく願い申し上げます。)
- 十文字光伸幹事(CKB役員の皆様ようこそ。)
- 宮本多加夫会員(CKB役員の先生方、本日はようこそ。8月24日、25日の大会が成功することを祈っています。)
- 金田昇会員(青木先生はじめCKB役員のみなさま、大会運営よろしく願います。成功をお祈りします。)
- 成井正之会員(CKBご指導の先生の皆様ようこそ。卓話ありがとうございました。今週の大谷スマイルは、8/10 35号、8/13 36号、8/14 37号、8/17 38号、8/18 39号でした。明日は40-40なるといいですね。ワクワクです。)
- 関谷亮一会員(CKB担当の先生方ようこそおいで下さいました。健全なる子供達を育てるため宜しくお願い致します。本日出欠の連絡を忘れてしまいました。お許しください。)
- 居川孝男会員(青木先生を初めCKB実行委員会の先生方、当クラブの例会に参加いただきありがとうございます。24.25の大会が大成功になりますよう頑張ってください。)
- 池田浩章会員(CKB関係の先生方、ありがとうございます。今年もよろしく願います。)
- 鈴木典雄会員(誕生日プレゼントありがとうございました。)
- 山田顕一郎会員(今月は妻と息子の誕生日がありましたのでスマイルします。)
- 永野文雄会員(CKB関係の先生方ありがとうございます。今年もよろしく願います。)

▶第1818回例会出席状況 (R6年8月22日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	71名
Ⓒ Ⓐの出席者数	23名
Ⓔ Ⓐのメイクアップ者数	0名
Ⓔ Ⓑの出席者数	12名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	35名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓔ)	64
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	54.7%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 8月9日 米沢中央RC公式訪問

阿部克弘、十文字光伸、金田昇、村上堅二、運天直人、
藤田龍文、松永紀男、矢田部錦四郎、前原俊治

▶例会日: 第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

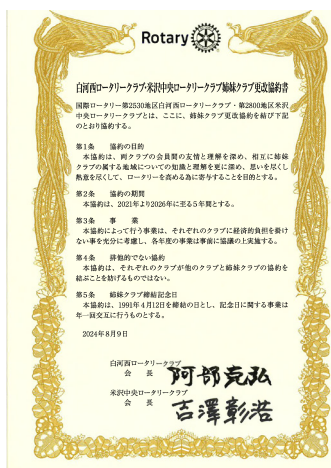
本日のプログラム

■会長の時間

阿部克弘会長



皆さん、こんばんは。それでは、今日お越しいただいておりますお客様の紹介から始めたいと思います。今週の8月24日土曜日並びに25日曜日に、第11回白河西ロータリークラブ旗争奪のチャレンジ県南ベースボール大会が開催されますが、その役員の方々が今日お越しいただいておりますので紹介をしたいと思います。まず初めに、CKB実行委員会委員長青木哲也先生。続きまして、CKB事務局長水野谷亮先生。続きまして、CKB運営部長大平健先生。同じく、CKB競技部長村上徳信先生。最後にCKB式典部長、引地琳先生。皆様には後程、各々の先生から卓話をいただくようになっておりますので、どうかよろしくお願いしたいと思います。先週はお盆休みでお休みでしたが、その前の週の8月9日金曜日、我が白河西ロータリークラブと姉妹クラブになっております米沢中央ロータリークラブさんに公式訪問をまいりました。行かれたのは、藤田会員、運天会員、金田会員、村上会員、永野会員、前原会員、矢田部会員、そして十文字幹事と私と9名で行ってまいりました。ずっと、コロナ禍の関係で姉妹クラブの協約書を締結しておりませんでしたので、当日は吉澤会長と私のほうで協約書を締結してまいりました。これがその時の協約書の締結書になります。長年ずっと先程も言ったようにコロナ禍の関係でできておりませんでしたので、これで正式に締結をしたということになりますので、どうか皆様よろしくお願いをしたいと思います。当日伺いまして、いろいろお話をさせていただいたことをちょっとだけ皆様に披露させていただきます。当日伺いまして、まず山形豪雨災害の支援金を皆様のご厚意で集めていただきましたものを、タオルと一緒に当日米沢中央ロータリークラ



ブさんさんのほのほうに置いてまいりました。大変喜ばれました。その時に大変私どももなかなかこういう協賛する支援をするということは、東日本大震災以後あまりありませんでしたので、なかなかこういうものもやらずにかならないというふうに感じて帰ってまいりました。その後、私のつたない卓話をさせていただきました。犬ばかのボランティア活動ということでちょっとだけ時間をいただきまして、米沢中央ロータリークラブさんのほうに活動の内容を紹介させていただきました。白河西ロータリークラブで以前は入会したての頃は結構卓話をやっておりましたが、なかなか最近は卓話をする機会というのがなかったものですから、いい機会を与えていただいて本当に嬉しく思っております。また、こちらの西ロータリークラブのほうでも私の活動を披露させていただいていただける機会があれば、是非やってみたいというふうに思っておりますので、どうかその時はプログラム委員長大住さん、よろしくお願いしたいと思います。その後、例会が終わりましたらメンバーの大平直前会長のお店と米沢の酒蔵「東光」さんのほうの見学をして帰ってまいりました。大変当日は暑い時でしたので、なかなか本当に辛い。やはり、米沢も盆地だなというふうに感じて帰ってまいりました。その点白河は少し涼しいのかなというように思いで帰ってまいりましたが、是非また皆さんと機会がありましたら伺っていききたいと思っております。後程、またいろいろとセレモニーがありますので、私の会長の時間は以上とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

■幹事報告

十文字光伸幹事



○日台親善会議総裁 吉田雅俊：第9回日台親善会議札幌大会開催に於けるご理解とご協力をお願い
○ロータリー財団：ロータリー定期寄付の推進をご支援ください
○日本事務局 業務推進室：会員

増強・新クラブ結成推進月間 リソースのご案内

○白河市赤十字奉仕委員長 安澤荘一：令和6年度白河赤十字奉仕連絡協議会視察研究会の実施について

- 早川ガバナー事務所：クラブ・地区支援リソース集・更新版の件
- 第2580地区名誉会長 田中毅：秋の「第22回ロータリー全国囲碁大会」のご案内
- 米山記念奨学会事務局長 峯純子：ハイライトよねやま293号
- 早川ガバナー事務所：第16回日韓親善会議のご案内
- 実行委員長 安田貴久：第11回cycle race「城d'白河」2024開催に伴うご協力とお願い
- 月信委員会副委員長 棚本俊彦：国際ロータリー第2530地区2024-25年度ガバナー月信10月号原稿執筆のお願い
- 第2660地区ガバナー 大橋秀典：大阪・関西万博万博開催日入場チケット申し込み期間延長のご案内

■CKB協賛金の授与



■各委員会報告

●野球愛好会



吉野敬之監督

野球愛好会より今週末の練習試合のご案内をさせていただきます。青木先生、ご無沙汰しております。24日CKBの前夜祭ということなんですけども、24日の夜に実は野球愛好会の練習試合がございまして、多分皆様CKBのほうに行かれるとは思いますが、もしお時間がありましたら「赤門」のほうで二本松クラブさんのほうがいらっしゃって練習試合を行いますので、こちらのほうに参加、懇親会のほうですね、参加していただければというふうに思っております。一応、予定では8時半から行う予定でございます。雨が降った場合ですけれども、多分CKBはお子様方なので雷雨等で中止になったら散会ということになるのかもしれないですけど、ロータリーは大人でございまして、試合をやらなくても飲み会はやるということでございますので、二本松の方は夜とり合えず来ると仰っておりますので、もしCKBのほうでお手すきになった方いらっしゃいましたら「赤門」のほうに6時半から開催予定になっておりますので、事前にご連絡いただければ人数の調整いたしますし、突然来ていただいてもうちの高島パス

ト会長のほうが腕によりをかけて料理作っていただけたと思いますので、是非うちの堀田君のほうまでご連絡をさせていただいて参加していただければというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。最後になりますが、青木先生、そろそろ写真を代えた方がよろしいのではないのでしょうか。そろそろ詐欺と言われるレベルになっていらっしゃるんじゃないかと、先程ちょっとパンフレットを見て思いましたので、最後に付け加えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム

●青少年奉仕委員会

吉田充委員長



皆さん、こんばんは。お世話になります。青少年奉仕委員会の委員長を務めています吉田充と申します。お世話になっております。本日はチャレンジ県南ベースボール大会、CKBの野球大会の

協賛金の授与式先程やりましたが、大会のほうの部分でいくと8月24日土曜日に開会式と試合と、24日25日と2日間で泉崎のさつき球場をメイン球場として行います。中学生の1年2年生が頑張って試合をやるので、ロータリーのお爺ちゃんお婆ちゃん、お母さんお父さんでもいいですが、そういう年代の子供たちがですね、頑張っている姿を是非球場まで足を運んで、1試合でも2試合でも応援していただければなというふうに思います。CKBは今年度11回を迎えます。ロータリークラブの旗を授与したのが創立30周年の記念大会として出させていただきますていただけてるんですが、その前の年からCKBを運営していただくようになりました。青木先生をはじめですね、先生方には多大なるご努力をいただきながら大会を進めていってきけるわけですが、11回を迎えることができたということは大変喜ばしいことだと思います。そんなところで、これから先生方のほうに今までのご苦勞話であったり、これからこういった部分をこういうふうな形でもっといい大会にするとか、そういった部分も含めてちょっとお一人お一人5名の方に5分間程度ではありますが、お話をさせていただければなというふうに思います。それからですね、今回この冊子を作っていただくにあたり、「ワタベ印刷所」さん、渡部勝也さんのほうにはいろいろ

ご苦労かけて申し訳ございません。ありがとうございました。それから、賞状とトロフィーと、あといろいろな部分で青少年奉仕委員会ではないんですが「村上スポーツ」の村上さんにもいろんな形でお世話になりました。ありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。それと先生方に一つ覚えておいてほしいのが、最後の所の部分にですね、白河西ロータリークラブは大会を応援しますという最後のページのほうですね、71社の会員メンバーの皆さんが先生方の大会を応援しますというふうなことがここに書いてありますのでそれも含めてですね、ご紹介させていただきます。

●CKB大会実行委員長

大信中学校 青木哲也先生



それでは、改めましてこんばんは。CKBの大会実行委員長を仰せつかっております大信中学校の青木と申します。先程、プログラムの写真がという話がありましたが、本当に第1回目の写真ということで、本当に時間が経ったなという実感があるのと同時に、本当にこの11回目をこうやって本当に今日もこの場でお話をさせていただける後ろ支えをしてもらえてることに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。今、昨年節目の10回大会ということで終わったところで、今度は20回というのを目標にまたスタッフ若い先生方も少しづつ入ってきて、いろんな形でどんどん深めていける大会にしたいなと思っています。逗子開成中学校の栄先生との出会いの時期と東日本大震災の時期と、あと県南地区の強化策事業というので中体連の県南地区で動いた時期がまさしくその東日本大震災前後の時期でした。そんな中でこういった後ろ支えをさせていただけるというところを、本当に嬉しく思いまして、これは絶対に子供たちや関わってくださる地域の方々になんとか大会以上の価値とか、あと子供たちがなんかこうやったなと思えるようなことをしたいなというところでスタートしたCKB大会でした。当時、本当に風評被害でなかなか地元の食材なんていうのを敬遠される都道府県とかあったとは思いますが、本当にその日の夜に逗子開成の保護者と野球部の少年たちと100人近くの子達でワイワイ

と焼肉を食べて応援してくれた時の事を今も尚本当に鮮明に覚えてます。そんな栄先生も自分の先輩なので、本当にだんだんこういう年齢になってきてはいるんですが、本当に野球と生徒の事だけを真剣に見て、本気で動いて考えて生活されてるところに自分は本当に共感を受けて、栄先生が来ていただける大会とロータリーさんの後ろ支えの思いを絶対無駄にはしてはいけないなという思いで大会は運営しているつもりです。そんな栄先生のチームも今回、逗子葉山の地区大会を勝ち上がって横須賀ブロックのほうに今回新人チームも進出するんですが、残念ながら8月24日がその横須賀ブロックの日なんです。栄先生のほうから電話をいただきまして、絶対に俺たちは行くからという話で、そのスタメンのぎりぎりの9人とか10人を抜いた第一陣で新チームはやってくる。Aチームもやってくる。夜のバーベキューから、その横須賀ブロックを戦った選手と栄先生は夜から合流してくださるというふうな、その話を聞いた時も本当にもうこれは本当に申し訳ない、ありがたいなというところで、そういう思いでいるのが今自分の立場としては現状です。とにかく、子供たちが県南地区の中体連とかいろいろ大会はありますが、とにかく開会式で全員が集まるということが本当になので、この日しか県南の中学生が新人として始まるチームの選手が集まるのはもう1回だけなんです。一生に1回だけなんです。その開会式をやれるということと、その中にそういった本当に風評被害から東日本大震災の時から応援してくださってる他県の先生方やロータリー様の本当に協賛いただいている部分で、これはもう本当に絶対大成功させなければいけないという気持ちで頭の中がいっぱいの、今週学校始まってはいるんですが、そんな気持ちでいっぱいです。今日集まってくださってる方々や、あとうちのスタッフの前でお話させてもらえることは本当に幸せだし、本当にありがたいなと思って嬉しく思いしております。この後、各々の先生方からもCKBに対するお話があったりするかとは思いますが、是非よろしく願います。本当に11回も頑張りますので、今後も12回13回とどんどん盛り上げていければと思いますのでよろしくお願いします。ありがとうございました。

●CKB運営部長

鯨川中学校 大平健先生



こんばんは。今日はありがとうございます。鯨川中学校の大平と申します。去年もこの場でちょっと話させていただいて、なるべくちょっと被る話はちょっとやめておこうかなと思います。なるべく上品な会話で進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。11回ということで、私ちょっと野球部のほう不在にした時期がありまして、自分が戻った時には第2回から関わらせていただいております。やっぱりこの最初に思ったことが、すごく大きな大会になってるんだなって、それが第一印象でした。そして、プログラムのほう見ながらちょっと思ったりするところ話したいと思うんですけども。自分が成績的にはあんまりこの成績というよりも他のほうの意味が大きい大会でもあると考えているので、そんなにこう気にはしてないんですけども、今思うと第2回の時いきなり準優勝西郷二中にさせていただきまして、その後はひたすら運営のほう頑張ってるかなんていうふうに密かに思ったりもしてます。この大会というのは、そして先生方というのが審判全部やります。だから、俺らにとってだけを言うとすごい修行の場で、体力的なものも。去年は入場行進って意外とすごいめっちゃ体力使って、自分が中体連の県大会の時に先導をやった時に手と足が一緒になった話なんかをしたかと思うんですが、実際に今年の先導、先程青木のほうから聞いたのは大変こう若くて爽やか先生がやるということなんですけども。そんなところもちょっと注目しながら見ていただけると楽しいかなと思ったりもします。そして、一応この第2回のあとにそんな形で関わらせていただいております。これの写真をこう見ながら、ああ1年経ったんだなというのがということと同時に、今年全くの新しいチームの一年が始まるんだなというようなこと。そして、一年前の事を思うとあんな事あったなこんな事あったななんてもいながら見ております。ここにこう写ってる子達、写真にたまたま囲んでる子供達、知ってる子の顔なんかも見てみるとすげえ幼かったなと、本当一年前は。今年私たち合同チーム3人なんですけども、おかげさまでつい最近まで3年生がいる大会まで出

場することができました。その子らがじゃあこの頃どうだったのかなというのと、バットに当てられるとすべてヒットになってしまうというようなスタートでもあったなこう思います。中学生って、その一年の成長って結構すごいものがあるって、その一個一個の経験が次にこう繋がっていくんだよねと思いつつながら、そういった意味でこの大会を早い段階で経験出来るという事。これをまず大変ありがたい事だと思っております。まだこれからも様々なことをご協力いただいていることあるかと思いますが、簡単ではございますが私のほうからの挨拶としたいともいます。今日はありがとうございます。お世話になります。

●CKB競技部長

白河第二中学校 村上徳信先生



改めまして、こんばんは。白河第二中学校、村上と申します。本当に今日はありがとうございます。先程、青木のほうから大平のほうからありましたが11回ということで、私も11回、1回目のほうからちょっと関わらせていただいております。大平も申しましたが私のほうも教員って顧問が代わるということがやっぱりありまして。私も東北中学校の時は最初ソフトボールを2年間顧問のほう持ちました。また東北中で野球部に戻って、その後白河第二中学校に去年赴任して2年目となっています。本当に先生の中では野球が大好きで野球専門でずっとやっているんだけど、野球部になれない顧問ができない方。逆に全く野球なんかやったことないし好きでもないけど、でも野球部の顧問をしないといけない。ちょっと変わった仕事場だなと思います。去年、私もお話したと思うんですが、その10年前、それこそその時から私も初めて教壇に立ったので、そこまでは一般の職業をやったという話はしたと思うんですけど。だから、本当不思議な職場だなと思いました。本当、この協賛いただいているロータリーさんがあるからこそこれだけ長く、それくらいこう動いてしまう。もう青木くらいになるともう野球しかやらせられねえってなるので。どこ行っても、今日現場の中でも野球をやらせないっていう選択肢がもうないですよ。もうこのくらいの先生になって、もう大平

先生もそうですけど。ただ、若手の先生は今年はバドミントンだ、その次の年は剣道だとやった事ないぞということが頻繁にあるので、それもちょっと問題かなって思ったりはする時はあるんですが。そういうのを見ながら11回大会を続けるというのはかなり難しい、教員だけではと思っています。そういう中でこういう後ろ支えがあってやっているという事は本当に感謝です。多分、私たちだけであの1回大会からやっていたら、コロナ過を挟んだ時に多分終わってたかもしれないなって、それぐらい辛い時期があったので。大会は何もできないし、時間も部活自体ができないという時期がありましたのでやっぱり、そこはそういう協力をしていただける方の手を取るということは、すごい教育としてまず大事なんだろうなと思います。残念ながら、私もこう10年間職場を見ていて、教育の業界ってあんまりそういうのがもしかしたら得意じゃないかもしれません。結構、まあ公務員ですからね。利潤を作らなくていいので。ロータリーさんからすれば真逆な形なんですけど、儲けを出さなくていいという仕事。だから、そうすると結構固まってしまって自分達でやっちゃおうという方かなり多いという中で、せっかくいろんな人たちが手を差し伸べ、やっぱり地域でやっぱり一体化しないと、これからの教育はやっぱりいけないなというのはここに来るたび感じます。その苦手な事をもっともっとやっていかなきゃ。それが多分、大きな話になっちゃいますけど働き方改革、働き方改革とよく言われますけど、時間じゃねえよと。それはやっぱり、やり方だったり、心だったりというのはすごい感じます。時間だけでやると、きっと部活やらなくなっても他の仕事全部回ってくると思うんですよ。変わらないと思うんですが、そういうのをこうやって本当専門家の人たちと手を取り合ってやっていくことで、もう本当10回超える、10年超えて20年超えて。そういうやっぱり協力体制というのがあって、初めて子供達は気付くことも多いのかなと思うので、本当にこのお付き合いは長くしていきたいなと個人的にはすごい感じています。その最初の本当に逗子開成の子供達とバーベキューした時に、これも言ったかもしれませんが、ある一人の生徒に「君の目標は何なんだい。」という話をしたら、逗子開成の子は「僕は東大に入って、東大の野球部員に

なりたいんです。」そういう子に、ここの子と会わせたい。そういう世界もあるんだなって。そんなこと言う中学生がいるんだなっていうところをやっぱり刺激、だから真似しろってわけではなくて。そういう事をこうやってくうちに、重ねていければもしかしたらいつかどこかで「僕、CKB大会出たんです。」って、そんな人にいっぱい会えるようになったら、きっと素敵なことかなと思います。いろいろ運営とか大変な事はあるんですけど、そんなのどうでもいいです。とにかくそういうまた楽しい出会いがあることを祈ってこれからも進んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

●CKB事務局長

塙中学校 水野谷亮先生



ロータリー こんにちは。塙中学校の水野谷亮と申します。自分の事ちょっと話させていただくんですが、私は生まれも育ちも県南地区です。出身は中島村で、中島中学校で野球をやってて、高校は矢吹町にある光南高校のほうで野球やらせていただいて、県南地区に非常にこう愛着とかそういうものがあります。中島村の「仲家」のラーメンとか、あとはかつ丼とかを食べて育ってきたという形になります。本当に私教員になった今年で13年目になるんですが、その中でも私、教科体育なので野球専門なんですけど、野球部に携われたのは大体半分くらい、6年あるかないくらいしか野球には正直携われていません。このCKB大会が1回目開催されるという時は、多分公試で教員採用試験で合格するために一回やめて勉強してる最中だったというふうに思います。その後、採用になっていろいろこう回ってきて、3年前ですね塙中学校に赴任して、塙中学校に赴任したので県南地区に戻ってこれたので、絶対野球部持ちたいなと思ったんですがやはり2年間持てなくて、今年やっと野球部に復帰したという形になります。この大会、すごい歴史がある大会だというふうに思います。青木先生、大平先生、村上先生を中心に、ここまで素晴らしい大会になってるんじゃないのかなというふうに思います。私自身も年齢を重ねていくごとに野球に携わってきて、やはりちょっと危機感を感じています。そ

れはやはり今、部活動の地域移行であったり、野球人数の減少というものが非常に今、野球界では問題になっています。その問題を解決というかそうするためにもこういうふうにはC K B大会で県南地区、あとは神奈川県ของทีมを呼んでこう盛大に開会式をやったり。あと、試合を経験することによって子供たちの野球に対する見方であったり、あとモチベーションも上がって野球人口が増えていったり、あとは中学生が高校に行った時に高校野球を続けてくれるという形になるのではないのかなというふうに考えています。今大会11回目ということで、私も今年、青木先生の大信中学校と大平先生の鮫川中学校と合同チームを組んでいて出場することになります。2人の先生から非常に学ぶことが沢山あって、私も指導者としてこれからもっと成長していきたいというふうに思っています。野球を通して県南地区に恩返しというか、野球がしたくて教員にもなったので、生まれ育ったこの県南地区に野球を通して恩返しをして、C K B大会でも審判から運営すべて一生懸命頑張ってやっていきたいというふうに思っています。この大会を運営するためには、やはり白河西ロータリークラブさんの協力があるからこそだというふうに思いますので、本当にありがとうございます。11回大会も教員一丸となって協力して成功を収めたいと思います。今後ともよろしくお願いします。ありがとうございます。

●C K B式典部長

表郷中学校 引地琳先生



皆様、改めてこんばんは。本日は本当に誠にありがとうございます。このC K B大会が第1回やる頃は恐らく平成26年ですね。その頃はわたくしは高校1年生。こう見えて実は若いです。その頃わたくしは野球ではなく吹奏楽のほうに携わらせていただきました。スポーツに対してはものすごい一種の偏見ではないですけど、自分は絶対にできない。野球はなおさら怖いみたいな、そんなイメージがあり、スポーツではなく音楽の道を歩んできました。そして、4年前教員になりまして白河市立表郷中学校のほうに赴任しました。その際に電話、校長先生から頂いたんですが「引地先生は野球部でお願いしま

す。」頭が真っ白になりました。野球のやも知らない人間が野球部の顧問をやるというのは、一体どういう事なんだろうと思いながら始めてました。それで野球部のほうには今、棚倉中学校にいらっしゃる先生が顧問をやられてまして、二人で力を合わせながら3年間やってまいりました。その中でもやはり、野球は頭を使って難しいなと思いながらもやってきた中で、教員2年目になりまして初めてC K B大会のほうに携わらせていただきました。まず、今だから話せることがあるんですが、「先生、審判やっていただけますでしょうか。」「いや、わからない。」ルールがなんとなくわかっていても審判はできない、大丈夫かなというそういった不安のほうが大きかったです。プロ野球なんかを見ていると、審判の誤審がどうのこうので乱闘騒ぎになってるところを見ていて、僕の中でボコボコにされたりするのかななんて思いながら不安の中で審判のほうやらせていただきました。ただ、その不安もすぐに拭い去り、ここにいらっしゃる先生方にいろいろ本当に丁寧に優しく教えていただいて、もう今ではサードだけなんですけど、審判やるっていったらやりますって少しですけどやるようにまでは成長したと勝手に考えております。今年から、その棚倉主顧問になりまして、本当に子供たちと日々力を合わせたり、時にはちょっと言い争いをしたりしながら野球のほうをやっておりますが。本当に自分がこうやってまさか野球のほうに携わって今すごい野球が面白いというのかっこいい、そういった考えに変わってきて、本当に人生何が起こるかわかんないもんだなと思っております。そしてその審判を始めたC K B大会、今年は役員として携わらせていただいて、本当に自分で何か恩返しではないですけど何かできればいいかなと思いながら、今回のほうは頑張っていきたいと思っております。それでまず、この大会を開いていただけるのも西ロータリークラブの方々のおかげだと思います。本当にありがとうございます。もちろん、明後日のほうの試合も頑張りたいのですが、私も是非大会を盛り上げるべく、開会式のほうでは何か面白いことをちょっと今考えておりますので、是非お楽しみにしておいていただけると幸いです。なお、最後に余談なのですが、今年度またC K B Tシャツのほう作っていただいたということなんですが、デザインわたくしのほうで作

らせていただきました。カッコいいのかなのかはわかりませんが、わたくしなりに格好よく作ったつもりですので、是非そのデザインも楽しみにしていただけると幸いです。本日は本当にありがとうございました。

■居川孝男監事



貴重ないい話の後でございすけども監事として一言。その前にわたくしも今68ですけども、白河第二中学校野球部で中体連の時に、実は今回のお盆の時に先生がまだ生きているので、白二中の担任して最後は白二中の校長先生で終わった先生なんですけど。まだ生きてるから一杯やるかって言って、15人くらい集まってお話したんですけど。その時の顧問で3番バッターだったんですね、ノーアウト三塁でスクイズのサイン出したんですね。何故あそこでスクイズのサイン出したんですかって、俺を信頼していなかったのかって今も言ってんですけど。「悪かったね、居川。でもお前にとっていい経験だったんだ。」っていうお話をいつも校長先生とお話するんですけど。ということは、逆にいうと先生方もいろんなサイン出したり、子供さんを選手として使う使わない、非常にご苦労なさってるとは思いますけれども、子供達にはいい思い出になるので、今後とも頑張っていただければというふうに思います。ありがとうございます。それですね、私先週先々週来れなかったので多分皆さんのメールボックスの中にロータリーの日本財団の確定申告寄付金という紙が入ってらっしゃるかと思うんですけど。これは皆さん方、ロータリーの会費の中からこれは捻出してる分なので、会社で法人会員としてロータリーの会費を払ってる方は、これは使えませんからね。会社で経費で出してるのに、今度個人で所得税の寄付金控除するということは二重取りになりますので、これちょっと法的に罰せられますので、税理士立場上、若干何人か私の会社に持ってくる人もまだいらっしゃるようなので、これは使えません。個人的にロータリー財団とか20万とか10万するのは、それは個人的にすればいいんですけど、法人扱いにした場合には使えませんので、ここの部分だけよろしく願いいたします。以上です。

阿部・十文字年度 第1回コンペ

8月25日 白河メドウゴルフ倶楽部



優勝	斎藤孝弘	8位	鈴木孝幸
準優勝	居川孝男	9位	齋藤愛
3位	堀田一彦	10位	成井正之
4位	佐藤幸彦	11位	渡辺道直
5位	運天直人	12位	前原俊治
6位	中嶋一貴	13位	十文字光伸
7位	永野文雄		

【第3回理事会】

令和6年8月8日(休) 午後19時30分(例会終了後)

審議事項

- (1)姉妹クラブの会員名簿を白河西RCの会員専用ページアップにする件(IT委員会)
基本U Pする方向で承認。相手クラブと内容の確認と当クラブにおいてもどこまで載せるか？細かな確認は必要
- (2)CKB大会 協賛の件
協賛金¥100,000 全員一致で承認
- (3)青少年奉仕委員会
米沢中央RC様より要請のあった山形県豪雨災害支援活動の募金が当日¥75,000円集まったが、中目パスト会長よりキリの良い¥100,000はどうか？提案があり当クラブから¥25,000を負担することに全員一致で承認

審議事項

- (1)国際ロータリー第2530地区 2024-25ロータリー財団委員会
資金推進・ポリオ委員会 委員長
クラブカード作成検討のお願い
諸橋会員よりクラブカードの説明により作成する方向で進める。利用方法・扱いについては改めて確認していく

その他

矢田部パスト会長より会員も増えてレターBOXも入りきらない
為、新たに作成したい。見積もりを取り、作成する方向での報告